



新橋小学校

学校だより

令和元年10月31日
令和元年度 第7号

「出会い」

副校長 遠山 満

秋もすっかり深まってきました。芸術の秋と言いますが、本校では10月18日（金）に芸術鑑賞会がありました。今年、スティールパン・オーケストラの演奏を全学年が鑑賞しました。演奏した「PAN NOTE MAGIC」によると、スティールパンは、ドラム缶からできた「20世紀最後にして最大のアコースティック楽器」と呼ばれているそうです。そのルーツは、カリブ海に浮かぶ島国トリニ



ダード・トバコ。イギリスに支配されていたこの国では、アフリカからたくさんの人たちが奴隷として連れて来られました。無理矢理、連れて来られた人々は、故郷であるアフリカの太鼓を叩いて悲しみに耐えていました。しかし、その楽器の演奏が人々の心を鼓舞して反乱につながると考えた人たちは、楽器の演奏を禁止しました。そんな折、トリニダード・トバコでは石油が産出されました。石油を入れるためのドラム缶が街にあふれると、人々はこぞってそれを叩き始めました。一人の青年がドラム缶を修理していたところ、凹み具合によって音階が生まれることを発見しました。これがスティールパンの始まりと言われています。「PAN NOTE MAGIC」の演奏は、透明感あふれる美しいサウンドを生かした、躍動感あふれるステージで、会場との一体感を作り出しました。そして、カリビアンミュージックのみならず、子どもたちがよく知っているジブリやディズニーメロディ、「もみじ」や新橋小学校校歌など、幅広いレパートリーで子どもたちを釘付けにしました。子どもたちの中には、「今回の演奏を聴いて、音楽が楽しくなった。」、「いろいろな音楽を聴いて、感性が豊かになった気がする。」、「将来ドラムをやりたいと思っていたが、絶対にやるという気持ちに変わった。」という感想をもった子もいました。

先日ノーベル化学賞受賞が決まった吉野彰さんは、小学校の先生の勧めで英科学者ファラデーの著作を読み、自然の原理に触れたことが化学への興味の原点であるとおっしゃっていました。子どもたちにとって、幼い頃に興味をもてることに会うことはきわめて新鮮で重要なことだと思います。本校では、今後も子どもたちに様々な「出会い」をさせ、子どもたちの可能性を伸ばしていけるよう教育活動を進めてまいります。

最後になりますが、9月に行われた本校第49回運動会では子どもたちにご声援や多大な拍手をいただき、誠にありがとうございました。引き続き、新橋小学校の教育活動にご支援とご協力を賜り、子どもたちを見守っていただきますようお願い申し上げます。